



**HATTORI**

〒701-0151岡山市北区平野620  
TEL (086) 293-2111 FAX (086) 293-2112  
<http://www.hattori-k.co.jp> E-mail:info@hattori-k.co.jp



環境にやさしい  
植物油インキを使用



FSC®は、森とそこに暮らす  
人や生物を大切に  
お手伝いをします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

# CSR REPORT ✦ 2022

服部興業グループ CSRレポート  
2021.4.1-2022.3.31

# HATTORI GROUP CSR REPORT ✨ 2022

	02	トップメッセージ
	03	経営理念
	04	組織図
	05	SDGsへの取り組み
	07	トピックス「ESDの取り組み」
	09	経営理念を実現するために(組織統治)
CONTENT	11	健全な企業風土づくり(人権)
	12	従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
	16	持続可能な環境への取り組み(環境)
	18	法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
	18	お客様の安心と満足のために(消費者課題)
	19	地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)
	21	第三者意見

## CSRレポート編集方針

私たちは経営理念のもと、日々の事業活動を行っております。

その報告書としてCSRレポートを作成するにあたり、世界のすべての団体に適用可能な

社会的な責任の国際規格である『ISO26000』を手引きとして活用しています。

同規格のガイドラインに従い、以下の7つの原則に則っています。

### 7つの原則

①説明責任 ②透明性 ③倫理的な行動 ④ステークホルダー ⑤法の支配の尊重 ⑥国際行動規範の尊重 ⑦人権の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し編集しています。

### 7つの中核主題

- 6.2 組織統治
- 6.3 人権
- 6.4 労働慣行
- 6.5 環境
- 6.6 公正な事業慣行
- 6.7 消費者課題
- 6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

### 服部興業グループの7つのカテゴリ

- 経営理念を実現するために(組織統治)
- 健全な企業風土づくり(人権)
- 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
- 持続可能な環境への取り組み(環境)
- 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
- お客様の安心と満足のために(消費者課題)
- 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画及びコミュニティの発展)

## ▶ トップメッセージ

### 未来の当事者たち

2020年12月のおかやまSDGsアワード受賞後には様々な方々と交流する機会が増えました。学校や行政が開催した交流会やイベントでは20歳以下の若者たちと地域や環境そして働くことについて色々と話が出来ました。高校生は積極的で、自分たちの興味や目標等の前向きな話だけでなく、将来への不安についても正直に話をしてくれ、私たちからはCSR活動に取り組む過程で仕事や考え方が変化したこと、また理念経営の大切さなどについて伝えることが多かったと思います。これまでのインターンシップや職場体験の時よりも、自分たちの仕事を見直し、将来のことをより真剣に考えるきっかけとなりました。

### 若者と共生社会を創る

新しい社会で育った若者たちと大人たちとの間にはギャップがあります。しかし、若者たちは社会や地球環境に対する意見や課題をしっかり持っていて、それらの実現のためなら“世のため人のため”に努力することが決して苦とは思っていないようです。地元への愛着や貢献意欲を強く持っています。また、仲間と一緒に課題解決に取り組む気質も持っているため、若者たちは多様な世代と協働しながら新たな共生社会を創ることが出来ると期待しています。そんな若者たちの潜在能力に期待しながら、私たちも引き続きSDGsに取り組んで参りたいと思います。

### 利他の心とイノベーション人材を育てる

当社がSDGsに取り組む目的の一つが利他の心を育てることです。とくにZ世代と言われる若者たちが早い段階から未来社会への責任を自覚し、“未来の当事者”として活躍してくれることを心から願っています。また、若い世代との交流とそこから生まれる新たな挑戦こそが人材と組織をいつまでも若々しく元気あるものにしていくのですから、私たちも世のため人のため、そしてサステナビリティとイノベーションを社内に生み出すためにも頑張らないといけません。

引き続き皆様のご指導とご支援のほどよろしくお願いいたします。



代表取締役社長  
服部 俊也

# 実践



牛窓本宅広間に“実践”の書が掲げられている

## ミッション

正しいことを実践し、  
社員の幸福と社会の進歩発展に貢献します

## ビジョン

人づくりを原点に仕事の品質、安全、環境を追求し、  
人々の豊かな暮らしを実現する地域ナンバーワン企業を目指します

## バリュー

経営信条「3つの満足」  
顧客の満足・社員の満足・会社の満足

CSR方針「社業発展、社会貢献」  
SDGsへの取組

## 行動規範

家法・考働基本・行動指針・5S活動・服部フィロソフィ

※服部フィロソフィ ▶10ページ

### 家法



三代目 服部平九郎



### 経営信条

#### 三つの満足

お客様に満足して頂くことが、社員の喜びであり、  
会社に発展をもたらすものと確信しています。

- 顧客の満足  
期待された以上のサービスの提供
- 社員の満足  
生きがいのある仕事、自己の成長、生活の向上
- 会社の満足  
適正な利潤の獲得、利益の分配

### 行動指針

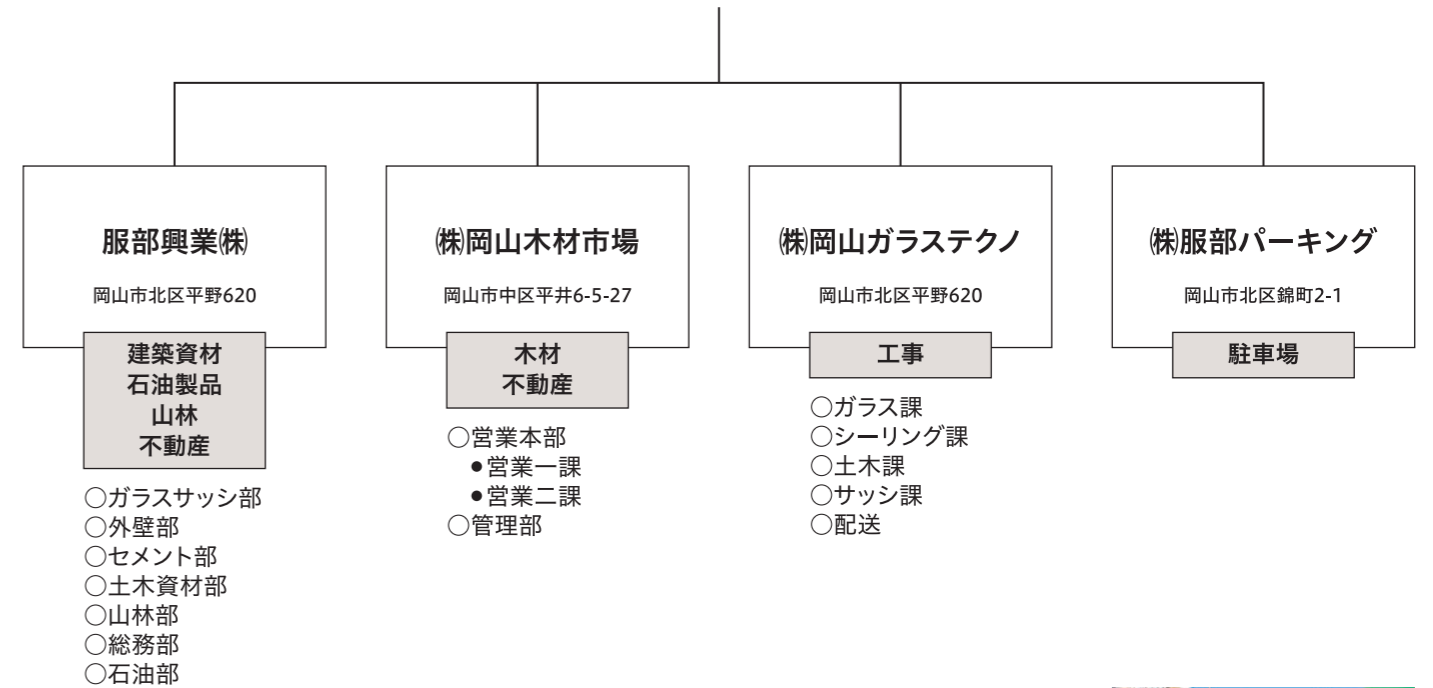
#### 即反応・即実行 仕事に気魄と気働き

#### 考働基本

	好感	安心感
即反応・即実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>感謝の気持ちを表わそう</li> <li>自ら進んで行動しよう</li> <li>理解する人になろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約束は守ろう</li> <li>報告はすぐしよう</li> <li>勇気を持って継続しよう</li> </ul>
気魄・気働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみを整えよう</li> <li>いつも笑顔で接しよう</li> <li>バイタリティーでやり遂げよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場で考えよう</li> <li>自信を持って行動しよう</li> <li>成功への執念を持とう</li> </ul>

## 服部興業グループ

グループ売上高：100.7億円(2021年度)  
グループ人員：136名



本社

(株)岡山木材市場

(株)岡山ガラステクノ

(株)服部パーキング



# SDGsへの取り組み



SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国で2030年までに達成する目標です。エネルギー問題や気候変動、教育や健康、さらには働きがいや経済成長も踏まえたもので、私たちの企業活動と目的が一致するものも多くあります。服部興業グループでは2018年4月7日にSDGs宣言を行い、成長目標を定めました。今後も我々が取り組むべきゴールに向けて事業を行っています。

## 服部グループが取り組むSDGs

本業を通じて持続可能な開発目標の実現に努力します。



2021年度SDGs目標・結果				2022年度目標	
部門	2021年度目標	数値	結果	2022年度目標	数値
グループ全体	①マスク、うがい、手洗いの励行		従業員・事業所にマスク配布5,750枚	①休業災害ゼロ・労働災害の防止	
	②インフルエンザ予防接種の励行と支援	インフルエンザ予防接種	接種率91%	②資格・免許取得推進による人材育成の強化	
	③労働災害の防止		休業災害1件、不休災害12件	③定期健康診断と再検査フォロー	100%
	④資格・免許取得推進による人材育成の強化		15名(前年+7名)	④CSR活動の情報発信	12回
	⑤健康経営優良法人の継続	グループ4社	100%		
	⑥定期健康診断実施と再検査フォロー		再受診率70%		
ガラスサッシ部 (サッシ)	①複層ガラス	6,500㎡	6,175.5㎡ 95%	①玄関ドア、引戸、サッシ、交換取付	70件
	②ガラス破損減	前年度比30%減(2020:19枚)	31枚(前年比163%)	②複層ガラス施工	8,000㎡
	③エネルギー消費削減のための断熱工事、玄関ドア、引戸、サッシ取替	60件	34件 57%	③断熱・日射遮蔽商品工事	40件
	④ペアガラス入替、内窓取付	20件	31件 155%		
外壁部	①耐震パネル率	100%	81%	①現場ロス材ゼロへの取り組み	
	②メーカー勉強会への参加	年4回・部門秘書の参加	0	②現場パトロールによる安全意識の向上、無事故無災害	1回/月
	③機械導入による労働時間削減及び生産性向上	現場5件	6件 120%	③CAD、3DCADの勉強会	1回/月
セメント・土木資材部	①災害復旧(矢板・鋼管杭(地盤改良))	6件	13件 217%	①既設資材の再利用	10件
	②高架・橋梁長寿命化工事	10件	16件 160%	②エコ資材の取り扱い	15件
	③用水路転落防止対策工事	10件	14件 140%	③耐震化・長寿命化工事	10件
	④子どもの安全を守る学校関係外構工事	10件	16件 160%	④資格・免許取得(フォークリフト)	2名
	⑤再生PETフェンス	10件	13件 130%		
石油部	①エコタイヤ比率	55%	92%(実数50.4%)	①ガソリン満タン・プラス1缶	25L/台
	②セブン-イレブンのフードロス削減	前年比20%削減	17%(実数83%)	②災害時対応訓練	3回/年
	③空気圧点検	10,000台	11,392台(114%)	③セブン-イレブンフードロス削減	前年比△15%
	④配送パートナーを増やし配達量のCO <sub>2</sub> 排出量削減	パートナー5社増	1社 20%	④安全納入パトロール	3回/月
山林部	①森林整備によるCO <sub>2</sub> 固定化と土砂流出防止	間伐40ha	18.6ha 46%	①森林整備によるCO <sub>2</sub> 固定化	間伐40ha
	②森林生態系能力の強化	広葉樹整備1か所	0%	②子どもへの森林・林業教育	200人
	③絶滅危惧種の把握と保護	山の便り発信45回	40回 89%	③絶滅危惧種の把握と保護	山の便り発信45回
	④パートナーシップの推進(真庭市や取引先との協働)	3件	7件 233%	④パートナーシップ推進 取引先などとの協働	5件
総務部	①健康診断再受診率	100%	70%	①社会貢献活動情報発信(募金、寄付、清掃等)	1件/月
	②ペーパーレス推進	印刷削減率10%	127%(2020:274,400枚、2021:215,881枚)	②ペーパーレス推進	前年比△10%
	③BCP策定・実行	安否確認訓練2回	100%	③社外研修・教育推進	40名/年
	④テレワーク実行		7名活用	④サークル活動推進	2件/月
	⑤交通事故防止(テレマティクス導入)		試験運用2台		
株岡山 木材市場	①合法木材の取扱量増	9,000㎡(前年比110%)	8,459㎡ 94%	①合法木材の取扱量	9,050㎡
	②県産材の取扱量増	3,000㎡(前年比110%)	3,185㎡ 106%	②県産材の取扱量	3,400㎡
	③ペレット販売量増	40t(前年比117%)	97%	③ペレット販売量	40t(2,000袋)
	④木工教室開催	2回/年	0回	④地域貢献	3回
株服部 パーキング	①快適な駐車場づくり・地域治安向上のための場内周辺美化活動	毎日	100%	①場内・周辺美化活動	毎日
	②出入口の安全・渋滞緩和のための事前精算比率向上		30%(実数63%)	②事前精算比率向上	70%
	③従業員の健康のための歩行歩数計測	10,000歩/日	84%	③歩行歩数計測	10,000歩/日
株岡山 ガラステクノ	①週1回のノー残業デー	100%	98%	①週1回のノー残業デー	100%
	②退勤～出勤までの10時間インターバル実施	100%	100%	②個々の力量を見極めて適材適所に配置	100%
	③資格・免許取得推進による人材育成の強化	4名	75%	③資格・免許取得による人材育成の強化(1級ガラス、大型免許)	各1名
	④月1回の安全周知会の実施	100%	91%	④月1回の安全周知会の実施	100%



# ESDの取り組み

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。つまり、ESDは持続可能な社会の創り手を育む教育です。(文部科学省ホームページより)

2021年度、服部興業グループは「SDGs目標4.質の高い教育をみんなに」の取り組みとして、未来の人材たちをサポートし、共に成長発展していきたいという想いのもと、小・中・高等学校、大学生向けに様々なESD活動を行いました。

ESD活動	実施回数	16回	対象人数	757人
-------	------	-----	------	------

## ▶ 北房小学校 水辺教室 2021.5.31

ホテルの里としても有名な真庭市北房地区で、北房小学校の4年生25名対象の水辺教室に山林部社員1名が講師補佐として参加し、ホテルのエサとなるカワニナ(巻貝)の採取と放流、その他川の生物調査や簡易水質検査などを行いました。子どもたちが自分の住んでいる地域を誇りに思えるような、地域の取り組みと環境教育をうまくリンクさせた活動は当社にとっても大変勉強になりました。



## ▶ おかやまSDGsプラザ夏の交流会2021 2021.8.3~5 主催:岡山コンベンションセンター 運営:ありがとうファーム

「ヒノキをカンナで削ってマイ箸を作る子ども向けワークショップ」と「高校生とのSDGs交流会」に山林部・総務部各2名が参加しました。マイ箸ワークショップでは小学生中心に多くの子どもたちが参加して大盛況。山のクイズや山林作業の話などをする時間もあり、五感で木の魅力を感じてもらいました。SDGs交流会では、服部興業グループが大切にしている考え方「利他の心」を中心に、社会課題を「自分事として」とらえ、従業員一人ひとりが何ができるか考える事の重要性について話をしました。



## ▶ 美作大学 環境学習指導者養成講座 2021.9.23

一般社団法人おかやまエコサポーターズの小桐登様と将来保育士や教員を目指す美作大学4年52名を対象に講座を実施しました。笹刈りやネイチャーゲーム、伐採見学、ノコギリによる枝払いや玉切り、竹ペラによる皮むき等を行いました。環境学習時の指導を想定した安全面や体験の楽しさを伝えることを意識しました。今後子どもたちに環境学習指導をする際の参考にさせていただきたいです。



## ▶ 岡山県立大学「吉備の杜」創造戦略プロジェクト 2021.10.16

岡山県立大学の建築やデザイン分野の学生21名を対象に授業を行いました。午前には実際に森を歩いて人工林と自然林の違いの学習、ヒノキ伐採と材の運搬、午後はツリークライミングと丸太切りを行いました。中でも丸太切りは予想以上に盛り上がり、木の魅力を伝えられたという手ごたえを感じました。



参加学生からいただいた感想(一部)  
木の根元にチェーンソーで切れ目を入れて切り倒し、分割して運ぶという作業内容であったが、何本も生える木に対してそのような方法で切っている姿に、林業の過酷さを学んだ。一本の木を切っただけでも相当な労力が使われているということ、将来木材に関わる仕事をする身として、知ることができて本当によかった。(3年H氏)

## ▶ 岡山商科大学「岡山経営者論Ⅱ」 2021.11.1/11.8

「岡山経営者論Ⅱ」とは、岡山経済同友会が会員企業の経営者等を講師として派遣するボランティアプロフェッサー制度により、県内の企業が交代で「永続の経営」をテーマに講演を行っているものです。当社は「企業経営とSDGs」というタイトルで社長と4つの部門の担当者が仕事内容や関連するSDGsの取組について発表し、2日間で教室とオンライン併せてのべ295名の学生に参加いただきました。経営学部長 西敏明様からは、「企業組織とは時代の変化・外部環境に合わせ、どうあるべきか、また変えるべきものと変えてはいけない“もの”や“こと”を真剣に考え、推進している会社である」とご感想をいただきました。



## ▶ 倉敷工業高等学校SDGsインタビュー 2021.11.18

山林部と岡山木材市場の社員計2名がZOOMでインタビューを受けました。これは、数年後社会に出て働く生徒たちが身近に環境問題をとらえ、企業や団体のSDGsの取り組みを知り、課題を発見・解決していくための方法や主体性を身につけることを目的としている授業です。セブン-イレブンのフードロスへの取り組みや今後のSDGsへの展望などの質問に回答しました。

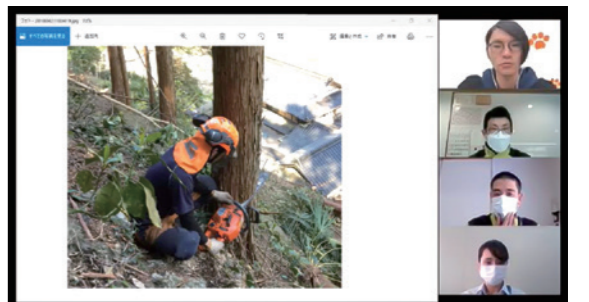
## ▶ 慶應義塾中等部選択授業 2022.2.15

慶應義塾中等部3年生13名を対象にSDGsのリモート選択授業を行い、服部社長よりSDGsの取り組みや検討中の卒業記念品・リサイクルボックスについての話を、山林部より真庭市や学校林の取り組みについて話をしました。終わりに今年度伐採した学校林の輪切りを持って写真撮影をしました。



## ▶ SDGsオンラインチャンネル「YOU MAKE OKAYAMA」 2022.3.5

学校と企業と一緒に作る高校生の学びの場です。SDGsを切り口に、高校生と企業がつながり、岡山の社会を詳しく知ることで高校生に多様な学びを得てもらうことを目的としました。企画から実行委員会として参加し打合せを重ね、当日は高校生33名に山林部の社員が自身の仕事やキャリアについて話をしました。高校生に向けてSDGsを通じて普段かかわりのない大人との接点を作り、話し合う場を提供することが出来たことは、職業観や人生観を醸成する一助になれたのではないかと感じました。



### 【その他の取り組み】

岡山大学経済学部ボランティアプロセッサー、岡山後楽館高等学校森づくり指導、大学生インターンシップ



# 経営理念を実現するために(組織統治)

## BCP(事業継続計画)の取り組み

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、自然災害や感染症リスクに対して事業活動が再開される状態に回復させるための計画です。起こりうる危険を把握し、初動対応を定めることで、有事の際にも速やかに業務復旧ができるように努めます。

### 連携事業継続力強化計画認定を受けました

「連携事業継続力強化計画」とは、中小企業の自然災害等に対する防災・減災対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度、「事業継続力強化計画」を発展させたものです。

複数企業が連携することで、単独企業では対応できないリスクへの対応や災害時の相互協力体制を計画します。

服部興業、岡山木材市場、服部パーキング、岡山ガラステクノはこの「連携事業継続力強化計画」の認定を受けることができました。

災害発生時の緊急対策本部設置や人員の派遣等、平時からのBCP推進会議を中心とした防災推進や訓練の実施を定めました。

服部興業グループのミッション「正しいことを実践し、社員の幸福と社会の進歩発展に貢献する」実現の施策の一つとして連携事業継続力強化に取り組んで参ります。



### 緊急連絡カード

緊急時に確実に安否確認がとれるよう連絡手段をまとめたカードを作成し、全従業員に配布しました。3パターンの連絡手段とそれらの使用方法が掲載されている他、緊急連絡先やハザードマップの情報を書き込めるようになっています。



### 安否確認訓練

2020年度に全従業員が参加でき、必要な人がいつでも情報を確認できるアクセシビリティを考慮し、昨年LINEオープンチャットによる安否確認を導入しました。

2021年は7月と9月に運用訓練を実施し、災害発生時に誰もが支障なく情報共有ができるように全従業員が操作方法を再確認しました。

### 自家発電機設備

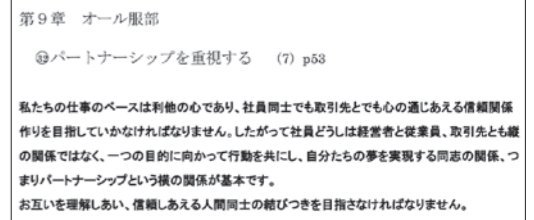
2020年度にDr.Driveセルフ平野SS・セルフ古都宿SS・Dr.Drive倉田SSの3SSが自家発電装置を備える住民拠点SSになりました。これによって万が一災害が発生した事態でも、被災者の救援や地域の早期復興のための車両、また地域の方へもガソリン・軽油を供給できるようになっています。

10月に震度6強の地震発生を想定し発電機の動作訓練を行いました。緊急用発電機の稼働と車両への給油手順、給油施設における安全性のチェック方法の確認などを確認しました。不測の事態でも落ち着いて対応できるよう、今後も訓練を重ねていきます。



# 服部フィロソフィの理解・実践を図っています

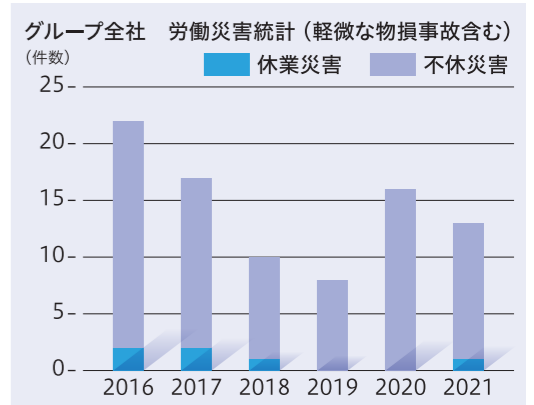
人として正しいことを実践し、正しい判断ができる人材育成のための羅針盤が「服部フィロソフィ」です。毎朝2名ずつ行っている朝礼スピーチや毎月の勉強会「決戦の日」では、取り組んだ仕事や行動がこの中の項目にどのように関連しているか発表をしており、学びの機会となっています。



## 安全への取り組み

私たちの職場環境は建築現場や山林作業などの危険業務や、危険物を取り扱う仕事もあります。従業員や協力会社の方が安心して働くため、営業推進と安全は車の両輪であるという価値観を共有しています。新入社員への安全教育も実施することで、安全意識の醸成に努めています。

2021年度の労働災害は13件で内1件が休業災害でした。事故事例の共有や安全周知会などを通じ、事故減少に取り組んでいます。



## 安全大会

安全大会は、安全衛生に関する決起集会以毎年1回行っています。各部門の現状と今後の取り組みについての発表では、労働安全コンサルタント本郷信夫先生より、各自の計画や安全衛生法を徹底し、ポイントを押さえながらリスクアセスメントを実施していくよう講評いただきました。

外部講師による講演では、2021年度は岡山県交通安全教育講師団内匠雄彦様を招き交通安全をテーマにお話いただきました。実際の事故がどのような運転手の精神状態によって引き起こされたかを5段階のフェーズ理論で分析・解説してくださいました。



## 安全パトロール

毎月1回、安全パトロールを実施しています。安全衛生のコンサルタントにも同行いただき、作業現場や事業所に潜む危険性・有害性がないか確認し、改善指導・アドバイスを行っています。2021年度は、建築現場・土木現場・林業現場はもちろん、SS等の倉庫内や燃料配達先など幅広く実施しました。写真は、自社SS倉庫内を確認している光景です。5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)もチェック項目です。



## 協力会社向け安全教育

グループ従業員だけでなく、協力会社向けにも安全教育を行っています。2021年度は、外壁部の関連会社1社を対象に実施しました。

ともに働くパートナーである協力会社の方々へ安全に業務にあたっていただくことは、当社にとっても非常に重要です。ともに安全意識を高め、安全で質の高い仕事を行います。





## 健全な企業風土づくり(人権)

### 健康経営優良法人2022

服部興業、岡山ガラステクノ、服部パーキング、岡山木材市場の4社が健康経営優良法人の認定を受けました。従業員が心身ともに健康に働き、それぞれの能力や個性を最大限発揮しながら毎日生き活きと働くことができる”健康人材”が集まる会社を目指しています。



### 健康管理・健康維持

健康診断の結果が要再検査の従業員を対象に受診勧奨を行っています。

また、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、毎朝朝礼でのラジオ体操、定期的に社内グループウェアでの健康ワンポイント情報の発信など、様々な形で従業員の健康にアプローチしています。



### 配偶者健康診断

健康診断の機会が少ないと思われる控除対象配偶者の方向けに健康診断を勧奨しています。加入している協会けんぽでは40歳以上の配偶者の方が受けられる特定健診は簡易的なものであること、また40歳未満の方は受診できないことから、従業員と同じレベルのプランをオリジナルで作成、会社で費用を負担し受診していただいています。

2021年度制度活用：7名

#### 受診者の感想

配偶者健康診断は、開始された当初から受診させていただいています。健康診断は、いつ、どこで受けたらいいのかと悩んでいました。何かと後回しにしていまいがちで、自分の健康と向きあうことにも、背中を押してもらって助かっています。

### ストレスチェック

労働安全衛生法では、労働者が50人以上の事業所に毎年1回のストレスチェックを義務付けています。服部興業グループでは50名を超える事業所はありませんが、従業員全員がWEBでストレスチェックを受けています。その結果医師による面接指導の対象と判断された方は、産業医との面接指導を受けることができます。

### 女性目線での改善提案「オリーブ会」

服部興業グループの女性従業員10数名で月に1回集まり、働きやすい環境づくりを目的としてオリーブ会を組織しています。女性の声で会社を良くしていく仕組みとなっています。2021年度は、バーチャルブラインドへの交換提案や、リサイクルや食品ロスなどの環境問題や災害に備える家庭の備蓄などをグループ全体の勉強会「決戦の日」(P.13)で発表するといった活動を行いました。

## 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)

### キックオフ

4月と10月に半期ごとの部門・会社目標を発表し、目標を確認し全員経営で仕事に挑んでいます。2021年度も新型コロナウイルス感染拡大を受け、昨年に引き続き時間短縮・間隔を空けて席を配置するなど対策を行いました。



### 表彰制度

毎年、新年互礼会にて下記の対象者を表彰しています。

- 資格取得者 ----- 11名(前年比:+3名)
- 無事故無違反(15年・10年) ----- 4名(前年比:+2名)



### 服部アワード

- MVP ----- 1名
- 優秀賞 ----- 3名

1年の功労者を従業員の投票で決定し表彰しています。服部フィロソフィ(p10)や多くの人を巻き込み協働する「オール服部」の実践、新しい事への挑戦など様々な点が評価のポイントとなっています。



MVP受賞者 総務部 甲斐明日香

受賞理由 会社理念の理解と実践

コメント 社員の方々の日々のご協力があって受賞することが出来ました。今後も会社を盛り上げて行きたいと思えます。

### 森の会議

昨年7月より山林部と岡山木材市場の社員で情報共有をする「森の会議」が始まりました。双方の顧客やニーズ、動向を共有し学ぶことで新たな事業展開へつなげることが狙いです。2021年度はWEBで17回実施しました。

新しい取扱い商品の開発として、岡山県産ヒノキでトロフィーを作成し、服部アワード表彰者に贈られました。





## 決戦の日

毎月1回、各部門・関連会社の成功事例を発表します。自部門へ水平展開したり、新たな気づきを得ることを目的としています。他部門や関連会社の仕事・取引先理解にも繋がっています。

## 山林研修

2021年度は新入社員3名で3日間の山林研修を実施しました。主な内容は山林踏査、松茸山掃除、伐倒作業、ロープワークです。山林研修を通じて得た、安全第一で業務を行うこと、困難な仕事でもチームで試行錯誤しながら挑戦していくことなどの様々な気づきを自分の部門の業務にも活かしています。



2021.10.20



2021.10.20



3日間の山林研修を通じて、山林部の取り組みや自然の大切さ、安全に対する行動などについて学ぶことが出来ました。特に安全については、作業手順の確認や作業をする際の周囲の安全確認など、自分たちのSSでも徹底しなければいけないと感じました。  
石油部 森村祐紀

## 専務新人研修

新入社員3名を対象に4月から3か月に1回、専務による新人研修を行いました。社会人としての心得を学び、今後の将来像についての意見交換をすることで、自律した人材育成に繋がっています。



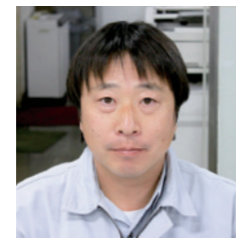
2021.9.11

## 実践知研究会

毎月1回、服部グループの部課長・部門秘書24名を対象に経営コンサルタントの矢田昌宏先生による勉強会・実践知研究会を行っています。4～5人を1グループとして、仕事での悩みや新しいチャレンジなどについて先生やグループメンバーから意見をもらい自身の業務に活かしています。現地・現物・現実といった事実を確認する「三現主義」、1人の能力だけでなくメンバーの力を集結してよりよい結果をだす「集合天才」、「内発的動機」をキーワードにしています。



2021.4.28



今回先生の話の中で印象に残った言葉が「問題は自分を成長させる」でした。問題イコール困ったという事になりますが、その問題から逃げずに解決しようとする行動は自分の成長になるという事でした。また、思いの深さやレベルは違っていてもメンバーと問題に対する思いが一緒であれば、難しい問題が少しでも解決することで、チームワークが取れたりみんなでチャレンジしていく事が出来るという事でした。  
外壁部 山村聡

## サークル活動支援金制度

社外活動を活性化しコミュニケーションやチームワークを向上させたいとサークル活動支援金制度が創設されました。各種スポーツ、アウトドア、勉強会、ボランティアなどを実施した際に、一人1,000円/回の支援金を会社で負担するものです。2021年度はサークル活動が13回行われ、のべ56名が活用しました。



2021.9.23

## 誕生日会

毎年誕生日にお祝いとして社長直筆のメッセージカードとお菓子のプレゼントが届きます。また、誕生月のメンバーと社長でランチを囲む昼食会も行っています。

## 結婚・出産・新築お祝い

結婚・出産・新築のあった従業員にお祝い金が渡されました。2021年度は出産1名、新築1名でした。

## 新入学お祝いの会

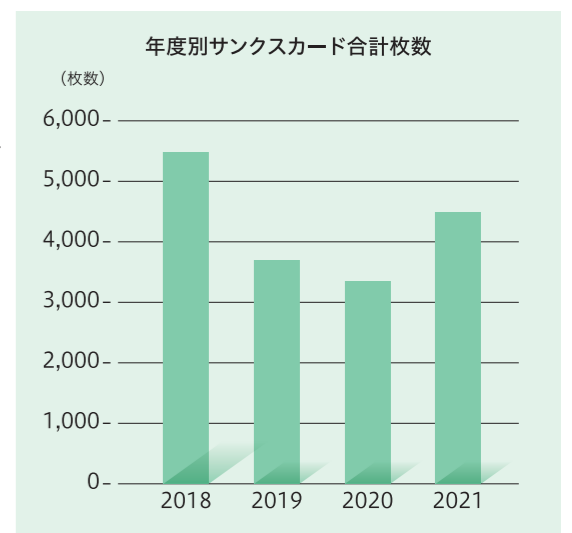
毎年3月、次年度に小学校に入学するお子様を持つご家族を会社に招き、新入学お祝いの会を開催しています。社長からの話やお子様へ絵本、文具等をプレゼントします。お子様には「小学校に入学したら頑張りたいこと」を絵にして当日発表してもらいます。ご家族の方々にも、お父さん・お母さんがどのような職場でどのような仕事をしているのか知ってもらえる良い機会になっています。2021年度は4家族、新一年生4名が対象でした。



2022.3.31

## 従業員相互のありがとうの繋がり「サンクスカード」

考働基本の一つ「感謝の気持ちを表そう」の実践としてサンクスカードを行っています。業務内外での感謝の気持ちを名刺サイズ大のカードに記入し掲示板に掲示、記入されたカードは給料明細と一緒に受け取る方へ渡されます。2021年度は4,485枚でした。

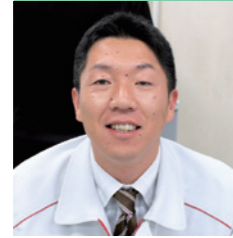




## 岡山ロータリークラブ優良従業員表彰

岡山RCの会員企業117社の中から、当社1名を含む11名が表彰を受けました。

### 受賞者の感想



岡山RC井尻会長から、「会社・家庭の中で高い倫理観を持って協調しながらより一層励んで下さい」とお話をいただきました。服部興業の一員として、また、家庭の中でも正しい考え方に基づいた行動を心掛け更なる成長に繋げていきたいです。  
石油部 吉田 誠



岡山RC優良従業員表彰式 令和3年10月27日 於 ホテルグランヴィア岡山

## 女性の現場・関連会社訪問

お客様や現場を訪れることで、お客様のニーズを把握しより喜んでいただける仕事ができるようになること、自分の仕事がどのように社会にかかわっているか知ること、それらを自身の仕事に活かすことを目的としています。事務所にいることが多い女性事務職ですが、普段とは違った環境にいい刺激を受けることができ、仕事へのモチベーション向上にも繋がっています。

### 岡山木材市場見学

12月と3月、岡山木材市場の特別市(特市)に服部興業の女性社員がのべ5名が参加し、競りの様子などを見学しました。関連会社の雰囲気や業務内容、お客様などを知る良いきっかけになりました。



ぜひ「市」を見学して体験したいと参加しました。倉庫の中は木材商品でいっぱい木匂いのする中、商品に値がついていく様子を見学させていただきました。また、お客様が来場された際にはオカモクメンバーが走り回り誘導、会話し受付へ案内されている姿に目配り・心配りがすごいと勉強になりました。  
硝子部 藤原由子



2021.12.9

### 部門秘書の現場訪問

外壁部の女性事務2名が参加し「幼保連携型認定あすなろこども園」の現場見学を行いました。当日は材料搬入日で荷下ろしや工程、施工等の説明を受けました。



普段図面を見ることしかなかったので、材料がどのように使われているのかを説明を受け理解を深めることが出来ました。また現場の雰囲気も感じられ良い経験となりました。  
外壁部 宮本栄子



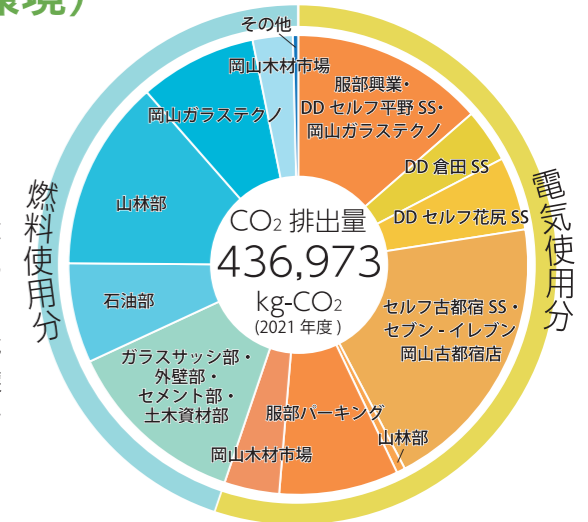
2021.5.14

## 持続可能な環境への取り組み(環境)

### 事業活動のCO<sub>2</sub>排出量を算出しました

自分たちが事業を行う中で排出しているCO<sub>2</sub>量の算出を行いました。主に電気使用量と営業車や重機等の燃料が対象です。

数値化により自分たちが事業活動でかけている環境負荷を明示することで、資源を大切にしたいという気持ちの醸成や省エネ行動・エコドライブといった行動に結び付けていきます。



### コピー用紙使用量集計

少しでも意識してムダな紙の削減に繋げようと服部興業本社では8月から今後毎月印刷枚数を集計・案内を始めました。この取り組みはSDGs目標「12. つくる責任つかう責任」のターゲット「12.5 2030年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」の達成を目的としています。また、紙の生産に必要な水や電気などのエネルギー削減にもつながります。

8月～3月累計比較 (全てA4として計算)

	2020年度	2021年度	増減
枚数	274,400	215,881	▲58,519
焼却時の二酸化炭素排出量(kg)	373,184	293,598	▲79,586
削減による二酸化炭素吸収量(kg)			51.5

### エコキャップのリサイクルに取り組んでいます

2018年度からペットボトルキャップの回収を行っています。ペットボトルキャップは焼却するとキャップ1kgにつき約3,150gのCO<sub>2</sub>が発生します。

2021年度は85.05kgのCO<sub>2</sub>削減になりました。

年度別寄付数量

	2018年	2019年	2020年	2021年
個数	19,932	11,610	22,683	11,610
重量(kg)	46.35	27	52.75	27
CO <sub>2</sub> 削減(kg)	146	85.05	166	85.05

### 旭川一斉清掃参加

社員とその家族、計14名が感染対策を徹底し旭川一斉清掃に参加しました。朝7時から約1時間程度、後楽園外周のゴミ拾いを行いました。

水辺のゴミを拾うために網を持参した社員もおり、タバコのフィルターやマイクロプラスチックの原因となるビニールごみを回収しました。また、BBQあとと思われるような食品トレーや手持花火のゴミ等も散見されました。こういった地道な清掃活動がSDGs「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさを守ろう」に繋がってくると改めて感じました。



2021.9.26

### 本社周辺清掃

本社大掃除の日(5Sの日)にあわせて地域の役に立つことがしたいという声上がり、周辺道路の清掃を行いました。

前面道路約200mは想像以上にゴミが多く、特にタバコの吸殻が目立ちました。一人ひとりが意識を少しずつでも改善していくこと、これがSDGsの第一歩なのだ改めて感じさせられました。



2021.10.23



## ペットボトル回収機設置

9月27日、セブン-イレブン岡山古都宿店にペットボトル回収機を設置しました。これは、岡山市、倉敷市、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、日本財団が連携したペットボトル回収事業で、資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としています。回収機にnanacoカードをかざし、ペットボトルを入れると、5本で1nanacoポイントがたまる仕組みです。

回収後はセブン-イレブン商品「一(はじめ)緑茶」「一(はじめ)緑茶 一日一本」のペットボトルに再生される循環型リサイクルです。

セブン-イレブン岡山古都宿店がリサイクルの一拠点となり、SDGs目標の「12.つくる責任つかう責任」「14.海の豊かさを守ろう」などの達成の一助になることを期待しています。

2021年度は15,868本のペットボトルを回収しました。



2021.9.27

## フードロス削減の取り組み

昨年度より、フードロス削減のため、この度セブン-イレブンで「エシカルプロジェクト」がスタートしました。

緑のエシカルプロジェクトシールが貼られた商品を電子マネーnanacoで購入すると、販売価格(税抜)に対して5%のポイントが付与されます。環境に配慮した選択を行いながら、お得にもなる取り組みです。

セブン-イレブン岡山古都宿店では、このエシカルプロジェクトや発注業務の精度向上で、2021年度にフードロス前年比83%削減しました。次年度も、発注管理、売り場づくり等を行い、課題解決に向け取り組んでいきたいです。



“出典:セブン-イレブンHPより”

## SSライトダウンキャンペーン

セブン&アイホールディングスが実施した「ライトダウンキャンペーン」に参画しました。店舗看板などを消灯することで、消費電力を抑えるほか、温暖化防止の普及啓発活動を目的とした取り組みです。

当社のSSでは、今回の取り組みの他、省エネ性能の高いLED照明への転換を実施しております。今後も地域から必要とされる会社づくり、そして、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



2021.7.7

## ベジタブルオイルインキ・森林認証紙使用チラシ

灯油配達の新聞折込チラシを、ベジタブルオイルインキ・森林認証紙使用に変更しました。ベジタブルオイルインキは、紙とインキが分離しやすく印刷物の再生紙への利用が低コストで行える、焼却時に大気汚染の原因となる成分の発生を減らすことができるといったメリットがあります。



## 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)

### 建設業法勉強会

安全衛生のコンサルタントを講師に建設業法勉強会を行いました。建設業に従事するメンバーを中心に、適正な施工体制や配置技術者について、改めて確認しました。法を守る=自身や仲間、周囲を守ることに繋がるということを忘れないようにしていきます。



2021.12.11

## お客様の安心と満足のために(消費者課題)

### ウッドショックへの対応

2021年3月頃からコロナ禍で減産されていた木材需要が世界的に急増、輸入材の不足が国産材の不足・高騰にも影響するという状況になりました。

この木材不足では、地元の手先メーカー・仕入先に供給を支えていただき、何とか供給を維持することが出来ました。輸入材の逼迫状況を早く入手して備蓄ができた事も一因です。今後も、日頃からコミュニケーションを密にし、価格だけの取引でなく、真摯に丁寧に対応して信頼関係を築いていきます。

### 木質ペレットの服部興業SSでの販売

岡山木材市場で販売している木質ペレットは、木材を製材する過程で出るおがくずや端材を細かくしたものを固めて作られています。燃やした時に排出されるCO<sub>2</sub>は、元は木が成長過程で吸収したもののなので、待機中のCO<sub>2</sub>量を増加させないエコな資材として注目されています。ペレットストーブの他、キャンプでの燃料やペット用トイレ砂にも使用されています。

環境に優しいこの資源をもっと多くの方に利用していただきたいと、7月から服部興業のサービスステーションでの販売を開始しました。家の近くで給油のついでに購入できると好評です。





## 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)

### ファジアーノ岡山 スポンサー招待デー

2008年のJ2昇格当初から、オフィシャルスポンサーを務めています。2021年のスポンサー招待デーは11月20日VS. 京都サンガFC。従業員とその家族約40名が観戦しました。今後もファジアーノ岡山のJ1昇格を後押しするとともに、共に岡山を盛り上げる存在になるべく努力します。



スポンサー招待デーは毎年楽しみな日となっています。普段は入れないコートに入れ、ファジ丸と一緒に写真も撮れて貴重な体験が出来ます。スポンサー紹介では服部興業の名前にテンションもさらに上がります。また、他の皆さんと一緒に地元ファジアーノを応援することが出来るとも面白く、子どもたちも楽しんで嬉しかったです。いつもありがとうございます。  
土木資材部 青山麻衣



©FAGIANO OKAYAMA



©FAGIANO OKAYAMA

### セブン-イレブン募金活動

1年で9,720円の募金が集まりました。多くのお客様が毎月募金をしてくださっており、有難く思います。この募金で環境を少しでも良くし、人の役に立つことが出来るのなら幸いです。今後は大袈裟になり過ぎない範囲で、もっと募金の存在をアピール出来るように古都宿店全体で取り組んでいきたいと思っております。



### KOTOMO基金寄付

KOTOMO基金とは、困難を抱える子どもや家庭を支援するために特定非営利活動法人 岡山NPOセンター、社会福祉法人 山陽新聞社会事業団、株式会社山陽新聞社が設立した基金です。山陽新聞社様のKOTOMO基金広告が取り組みのきっかけになり、服部興業グループ内で基金の情報提供を行い、一口500円の寄付を呼びかけました。多くの従業員から集まったご厚意に同額を会社から支援した計7万円を12月15日に岡山NPOセンター代表理事 石原達也様にお渡しすることができました。



2021.12.15

### ウクライナ人道危機救援金

日本赤十字社様のウクライナ人道危機救援金募集に協力しました。社内で呼びかけをしたところ、従業員74名から計5万5千円の寄付があつまり、会社から同額を加算した合計11万円を3月25日に日本赤十字社岡山県支部様に持参しました。今回の救援金は、ウクライナ赤十字社やその他近隣国の赤十字社に送られ、ウクライナ国内の人々や近隣国に避難している人々に対し物資や食料、医療、ボランティア活動、心理社会的支援等に活用されるそうです。



2022.3.25

### 岡山市地域貢献企業 受賞

この度、平井学区連合町内会様の推薦をいただき地域貢献企業として表彰されました。これは令和になって岡山市が新たに創設した制度で、長年にわたり地域の発展・活性化に貢献している中小企業を表彰するものです。

2010年から毎年参加している「平井まつり」での木工教室の開催や地域行事の際の土場提供等の取り組みが、地域の皆様に評価・支持されました。

社会貢献を通じて、木の良さを伝えていくとともに、地域に愛される企業であり続けたいと思います。



### SDGsのコラボレーション 卓上カレンダー

おかやまSDGsプラザ夏の交流会2021(P.07)への参加がきっかけとなり生まれたSDGsを通じたつながりが、卓上カレンダーという一つの形となりました。

株式会社岡山コンベンションセンター様の2022年卓上カレンダーは、絵はありがとうファーム様所属の障がい者アーティストの作品が、台座は岡山木材市場のスギ材が使用されています。

障がい者支援と木材資源の有効活用といった、それぞれの事業分野を活かした取り組みになりました。



### 真庭市林業PR動画

真庭市の小中学生向けに林業の魅力を伝えるPR動画の制作に協力しました。山林部社員が動画の中のインタビューで山の仕事の魅力について話をしています。林業に興味を持つきっかけになれば幸いです。



### 真庭の林業を学ぼう！(林業普及啓発映像を公開します)

印刷ページ表示 大きい文字で印刷 記事番号: 0042684 更新日: 2021年5月6日更新

真庭市では、小中学生の児童・生徒に市内の林業について学んでいただくことを目的とした林業普及啓発映像を作成しました。この映像には、山(林業)の仕事はどのような仕事なのか、作業ごとに紹介したり、仕事で取り扱う重機の紹介、山で働く人々の現場の声の紹介等もしています。詳しくは下の映像をご覧ください。また、同映像は真庭市公式YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。学校の授業等の教材としてもご利用ください。



ご意見・ご感想をお聞かせください

服部興業グループCSRレポートについてのアンケート





## 代表挨拶

代表幹事 川元 盛樹

2021年度、服部興業グループCSRレポートの第三者意見を担当する「CSR報告書を読む会」は2011年に発足し、社会的責任に関する国際規格ISO26000をガイドラインとして活動している団体です。

長引くコロナ禍によってわたしの日常生活は変化を余儀なくされています。特に影響が大きいと思われるのは、人と人のつながりが薄れてしまい、精神的にも経済的にも追い込まれてしまう人が増加している点です。コロナ禍にあって経済格差はより鮮明なものになってきています。

「CSR報告書を読む会」は岡山県における優良企業を増やすことを目的にしています。それは、企業利益だけを最優先することではな

く、働いている労働者とその家族、地域社会、取引先と良好で健全な関係性が成立されていることが条件となります。

服部興業グループのCSRレポートは今回で第4弾目となります。上記視点で、振り返ってみると、取り組みの精度は回を重ねるたびに向上していると読み取れます。それは、コロナ禍にあってどう行動していくべきなのかを貴社の経営陣、労働者がしっかりと考えられているからではないかと推察できます。

コロナ禍ほど自分たちで考え判断し行動することが求められることはありません。レポートには貴社の伝統・文化など目に見えないものが資本として表現されています。レポートをひとつの判断基準として今後のさらなる発展を遂げられることを祈念します。

代表幹事  
川元 盛樹

岡山県労働組合会議



### 特筆すべき点

女性の現場・関連会社訪問の取り組みはジェンダー平等を実現する観点からも重要なものであると考えます。また、健康管理・維持の取り組みや配偶者健康診断は非常に優れた取り組みであるため、広く社外にアピールして岡山県内の企業でも広げていってもらいたいと思います。

### さらなる取り組みを期待する点

現場における女性比率の割合はどうなっているのでしょうか。日本はジェンダー平等が世界120位と非常に取り組みが遅れています。現場・関連会社訪問の経験を、女性役員の積極的登用などさらなる発展につなげていかれることを期待します。健康管理・維持の取り組みについては、ウィズ・コロナ時代を考慮して有給での病気休暇・看護休暇制度の整備などが求められます。実施に向け、従業員の状況把握等に努められることを期待します。

幹事  
小桐 登

岡山県ボランティア・NPO活動支援センター  
CSR担当



### 特筆すべき点

環境への取り組みが本格化し、事業における環境負荷の把握やCO<sub>2</sub>削減に向けたLED照明への変更他、多岐に取り組みをされています。今後、環境マネジメントシステムの取り組み、負荷低減の強化に期待します。

### さらなる取り組みを期待する点

前年度のグループ全体目標である「社内サークル活動の支援」の記述が残念ながらありません。

CSR活動の更なる社内浸透については情報発信回数の記述のみで、目標設定と実施内容の曖昧さや齟齬を感じます。また、SDGs達成に向けてESDにグループ全体でどのように取り組まれるのか、位置づけが曖昧な印象です。明確にされることが重要と感じます。

最後に、前年の従業員満足度調査の結果を受けての対応の記述がありません。改善された点については、組織統治や企業風土づくりの項目で報告される方が良く考えます。経営課題の中に取り入れ、定期的な報告がなされることを期待します。

幹事  
築谷 淳志

公益財団法人  
岡山県環境保全事業団



### 特筆すべき点

コロナ禍や世界的な社会経済の混乱で混迷の度合いが増す状況下で、地域のインフラを提供される企業として、社会責任を果たし続けられていることに敬意を表します。環境やESD、BCPを中心に地域と自社の持続可能性に関する内容の充実が目立ちますが、特に温室効果ガス、紙使用量など数値的な結果把握が数多く見られ、読者に対する説得力が増している印象を受けました。

### さらなる取り組みを期待する点

Z世代など若年層の就職志向は、働き方や待遇の軸と、環境・SDGsに如何に取り組んでいるか、という軸の2軸で評価する傾向が強いとの大手調査機関報告があります。貴社の多種多様な社会活動の活かし方として、報告内容や構成など若年層の意見を取り入れた報告書とし、単に配るだけではなく社員が対面で説明するコミュニケーションを推進することで、ステークホルダーとの有益な交流が多く生まれ、若年層により響く情報発信が実現できるのではと考えます。

幹事  
石原 達也

特定非営利活動法人  
岡山NPOセンター  
理事長



### 特筆すべき点

未来を担う子ども・若者の支援は「人口減少と少子高齢化」が喫緊の課題である日本において、子育て支援と地続きで重要な軸の一つであると思います。今回の服部社長によるリーダーメッセージでのZ世代や未来世代への目線、また「ESD」への取り組みについてしっかりページを割いて示されたことは姿勢を示す意味でも特筆すべき点だと思います。

あわせて、子ども支援のための「KOTOMO基金」へのご寄付にもあらためて感謝いたします。

### さらなる取り組みを期待する点

これもリーダーメッセージで触れられていますが成人年齢の引き下げもあり18歳とその前後の年齢、具体的には高校生との関わり、高校の支援はさらに期待したい点です。特に林業の担い手である農林系の実業高校は生徒数も減少し存続の危機にもあります。

持続可能な日本林業のためにも実業高校への関与、支援にさらに期待します。また育児を支える育休や制度充実にもさらに期待します。